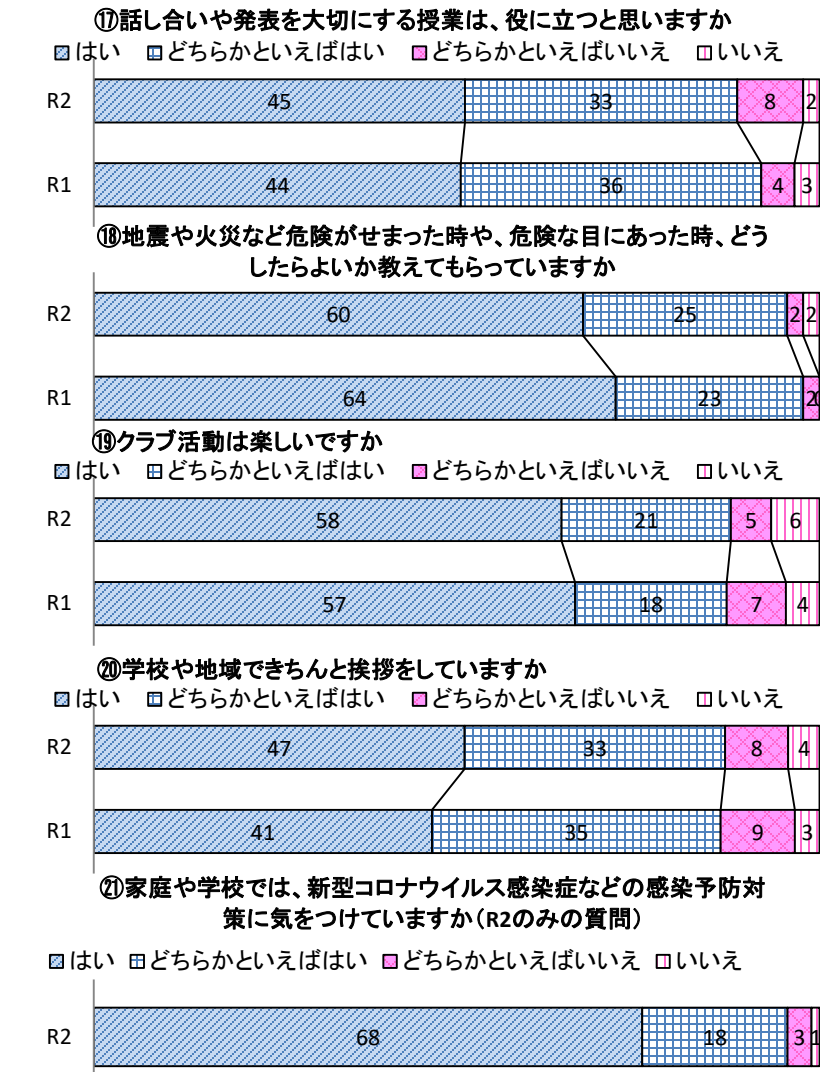
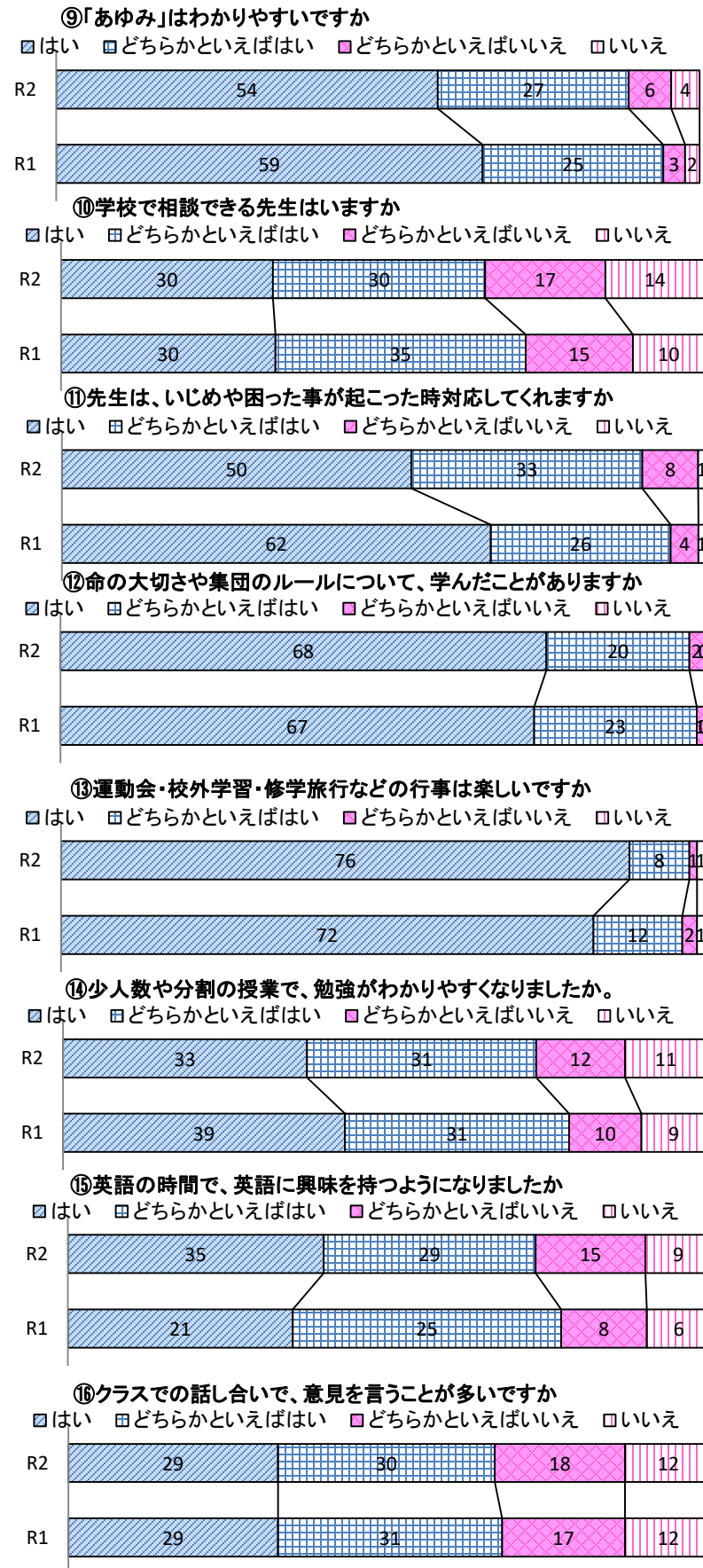
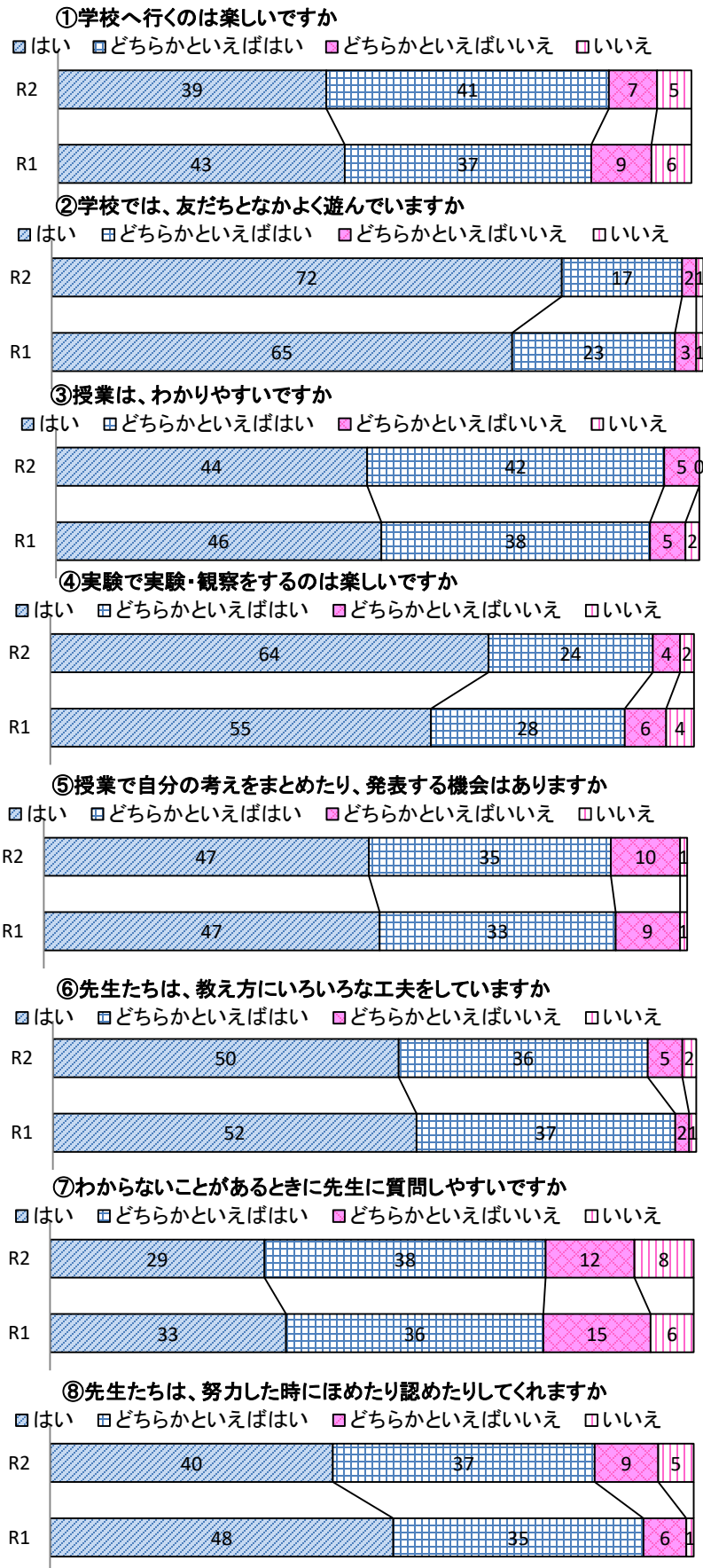


児童アンケート

(4、5、6年 対象)



★結果の分析と考察(児童用) ※数字は四捨五入して表示 無回答を省略

・児童のアンケート結果では、強い肯定である「はい」の回答が昨年度より8項目において増加し、昨年度より9項目において減少しています。その中で、今回特に大切にしたい3点についてお伝えします。

○昨年度末からの臨時休校が続き、子どもたちにとっては、当たり前前の生活が送れなくなったことで、日々の学習や友達との生活、遊び、行事等の大切さを改めて感じ取ったのではないかと考えます(①②③④より)。子どもたちがもっと「学校に行くのが楽しい」と感じられるような、集団づくりを核とした学級運営に励みます。

○今年度より新しい教育課程がスタートし、教科書やあゆみの内容が変わりました。新学習指導要領では、子どもたちが学んだことを実生活で生かす「深い学び」が求められています。教科書内容を理解するだけでなく、話し合いや調べ学習等で学びを深め、生きて働く力となるよう教員の指導力向上に努めます。(⑥⑦より)

○何よりも、子どもたちの学校生活における「安全・安心」が大切だと考えます。⑩⑪の結果を真摯に受け止めて、子どもたちに寄り添い、互いを認めあう道徳性の涵養、豊かな人間性を育みます。

この分析結果を踏まえ、全教職員が一丸となって、今後の学校経営、授業改善につなげていく所存です。今後とも、よろしく願いいたします。

※保護者の皆様にご回答いただいた集計結果については、次月号にてお知らせいたします。